

100頁の
記事

ケア現場



園児と関わり 周辺症状変化

デイサービスセンター秋津



田邊恒一
代表取締役

認知症対応型デイサービス「デイサービスセンター秋津」は保育園を併設しており、普

段から園児と関われる環境を認知症ケアに役立てている。認知症により混乱してしまった利用者が園児と接することで落ち着きを取り戻すなど、その効果は大きい。地域の高齢者・子供とし

認知症カフェ運営も

での関わりを重視しており、お菓子作りが趣味の利用者が園児と一緒にケーキを作るなどしている。家から何度も施設に電話をかけるなど不安感が目立っていたが、職員や園児と過ごすことが安心して繋がりが、認知症進行を抑制できている利用者もいるという。

「利用者一人ひとりととってタブーなことや、お気に入りの声掛けなどがあれば必ず職員同士で共有しています」と語るのは山口響子計画作成担当者。日々の申し送りノートを

活用し、迅速にケアに反映するという。家族ら集まり介護語り合う同施設の周辺には高齢化が激しく進行している団地があり、高齢者世帯や独居の利用者が多い。運営元であるウエルフェア（千葉県習志野市）の田邊恒一代表取締役は認知症管理指導者の資格を取得し、職員に向けた研修や地域の相談役として、認知症理解を施設内外に啓発してきた。同資格や認知症サポーター講師を務める資格を取得し



園児と触れ合う利用者

啓発活動の一環として、認知症啓発パレード「メモリーウォーク」を毎年開催。市内の団地の集会所を利用して認知症カフェも運営しており、認知症高齢者やその家族などでもぎわっているという。「在宅でも地域で守っていただける仕組み作り

看取り期にも自立支援

ロボット導入で職員の負担軽減も

をし、認知症になっても安心して生活できるようにと考えています」(田邊代表取締役)

〈事業所概要〉	
名称	： デイサービスセンター秋津
類型	： 認知症対応型デイサービス
定員	： 12名
事業主体	： ウェルフェア
住所	： 千葉県習志野市秋津